指定管理施設の管理運営状況のまとめ（令和4年度分）

施設名　松江市東出雲おちらと村
指定管理者　特定非営利活動法人かみいとう
担当課　健康福祉総務課
指定期間　令和2年4月1日～令和6年3月31日

1. 総合評価

B	【優れていると評価した点】 新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、申請時には提案していなかったスマホ教室、寄せ植え体験等の自主事業を多数行い、地元の児童クラブ向けの木工体験等も取り入れ、地域住民及び利用者の満足向上に努めた。また、広報誌の発行やSNS、ホームページ等で積極的に広くおちらと村の情報を発信し、施設の利用を促すように努めた。 【課題、改善点等】 利用者の満足度を向上させるためのアンケート調査を行うこと。

2. 施設利用の増減について

新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、なごやか寄り合い・サロン会の開催が増え、新しい自主事業の開催もあり、敷地内のふれあい館、ふるさと味あじわい館において利用者が増加し、全体で前年度比109.7%となった。

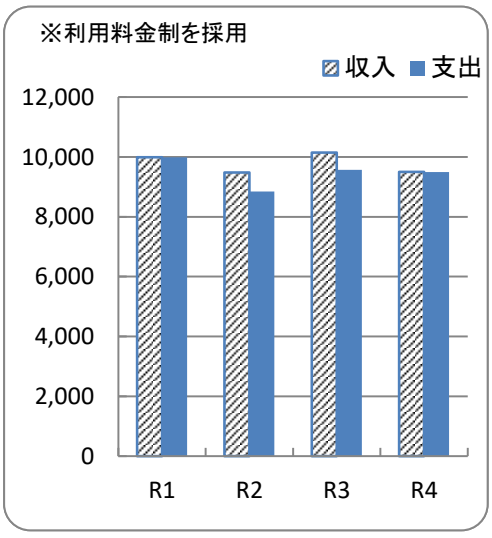
（1）収支状況の推移　（自主事業を除く）

（千円）

	項目＼年度		R1	R2	R3	R4
施設の収支	収入		9,988	9,478	10,144	9,499
		うち指定管理料	8,678	8,716	9,346	8,716
		うち利用料	1,155	720	744	715
	支出		9,988	8,846	9,572	9,490
	差引		0	632	572	9

上記以外の市の収入、支出

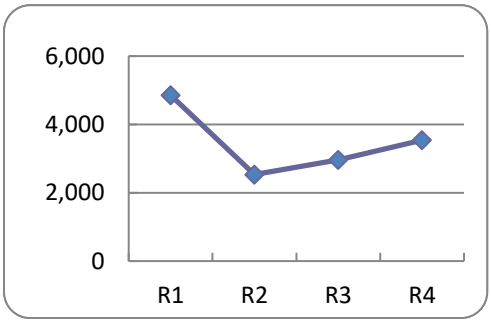
市の収支	収入（使用料）		71	92	93	130
	支出		0	303	0	290
		うち市の修繕費	0	303	0	290



（2）利用者の推移

（人）

R1	R2	R3	R4
4,856	2,534	2,957	3,542



（3）利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
0	－	－

3. 自主事業

総括	新型コロナウイルス感染症の影響により休止せざるを得ない事業もあったが、申請時には提案していなかった自主事業など新しい事業の企画に着手しており、前向きな姿勢が見られる。ミニ門松づくり、寄せ植え、そば打ちなどの体験事業やスマホ教室、キッズマネースクールなどの学びの事業、田植え、稲刈り、柿剥ぎ体験など地域の特性に合わせた事業など、事業の内容は幅広く、参加対象は地元住民のほか周辺地域の住民も含み、地域振興のための賑わいの拠点として施設を活用できている。
実施状況	・介護予防事業（毎週月曜日・木曜日） ・田植え体験事業(5月)、バケツ水族館（7月）、稲刈り体験事業（10月）、柿剥ぎ体験事業（11月）、子とんど祭（1月） ・手作り館木工体験、同好会、研修、同好サロン（不定期） ・申請時に提案していなかった自主事業【スマホ教室、お肌と健康若返り幸座、寄せ植え体験、ミニ門松づくり、松江藩ちゃのゆの学校、しいたけ菌打ち、そば打ち体験教室、キッズマネースクール、終活講座、ハイキング、月山登山、クリスマスリースづくり、吊るしひょうたんづくり】（様々な内容の事業を毎月複数回実施）

4. 評価項目及びその評価

評価項目	市評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	B
利用促進のための計画が練られていたか　→利用者数の増減により評価	A
利用促進のための計画が練られていたか　→自主事業の実施状況	A
広報活動	A
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	B
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者（経験者）が確保されていたか	A
利用者の安全対策（平常時・緊急時）についての研修等が十分に確保されていたか	B
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	B
災害等に備えた計画（被害の拡大防止措置など）が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	B
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	B
清掃業務	B
機械設備等の保守点検	B
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	B
松江市への報告	C
労働安全衛生	A
施設の巡視	A
職員のマナー（服装・電話・窓口）	B
備品の管理	B